

鬼笠子

南房のムツ&オニカサゴ リレー釣りで楽しさ倍増!

南房江見太夫崎出船
撮影◎鈴木良和



●当日最大1キロ、南房のテカオニ健在!



▶フラッシュャーサビキ、オニカサゴ仕掛けともオモリは150号。付けエサは持参



●断続的に引き込めは本命の期待大



●オニカサゴは太海沖の水深30メートル前後を探った

●2キロと1キロのカンコがダブルで上がった



●早朝のフラッシュャーサビキ五目で丸まる大つた寒サバをキャッチ



118 ●定番ゲストのアマメカサゴ



119 ●キントキも交じる



●マトウダイも登場



●ムツのポイントは鴨川沖の水深85メートル前後



●ムツは30センチ級の良型主体

この時期の南房エリアで人気を博すメニューの一つがフラッシュャーサビキ五目とオニカサゴのリレー釣り。前半にフラッシュャーサビキで狙うのはムツや寒サバで釣り時間は1〜2時間と短いものの、ムツは30センチ級の良型主体、寒サバはそろそろ終盤だが3月一杯は脂が乗った個体が期待できる。後半のオニカサゴは1キロ前後を主体に一人2〜3尾とあぶれることがほとんどないのも魅力。ただし置き竿でのんびり待っているのはダメ、手持ちで積極的に誘ってほしい。

(詳細は52ページ参照)



◎南房江見太夫崎・鈴木良和 武男船長

鬼笠子